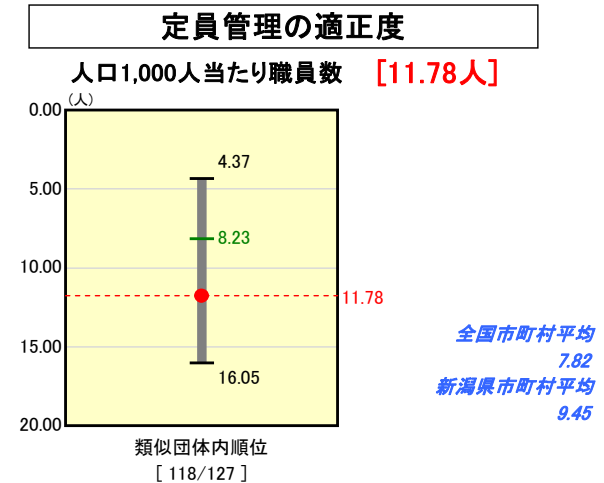
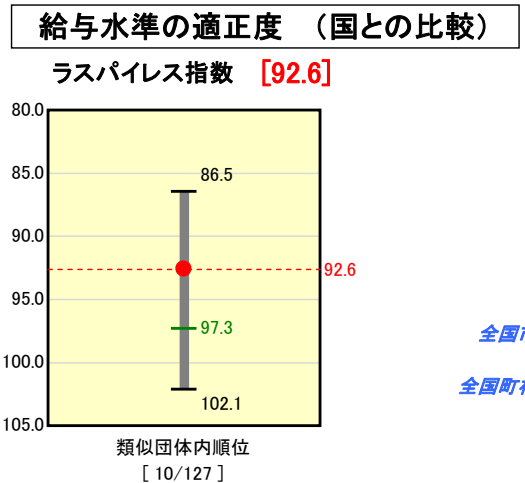
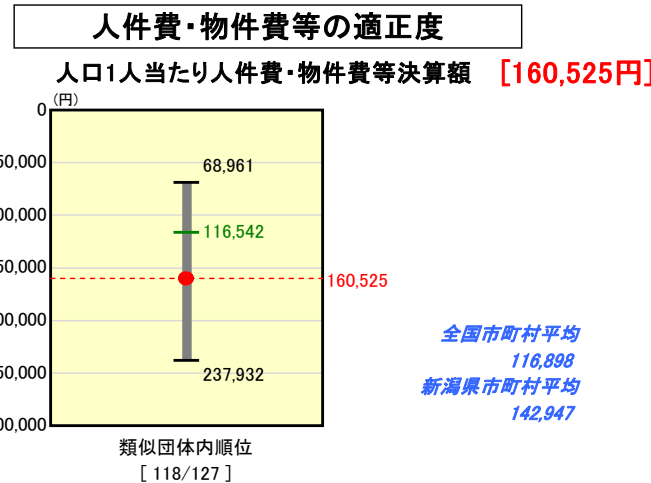
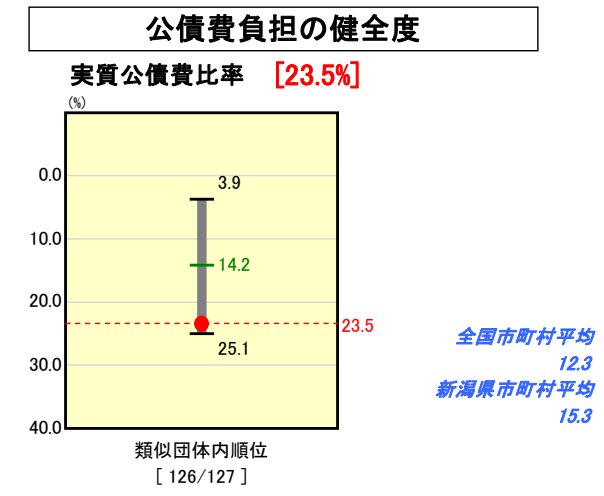
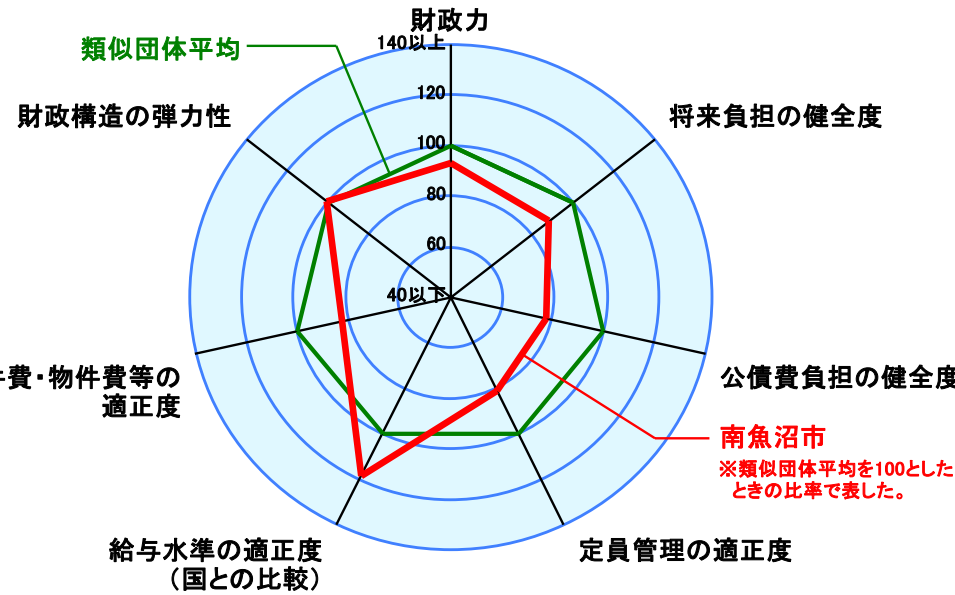
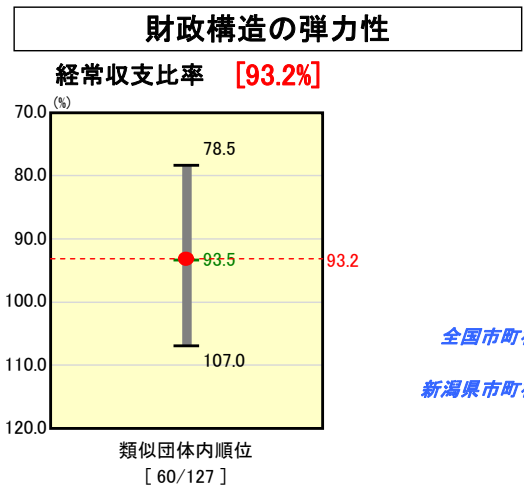
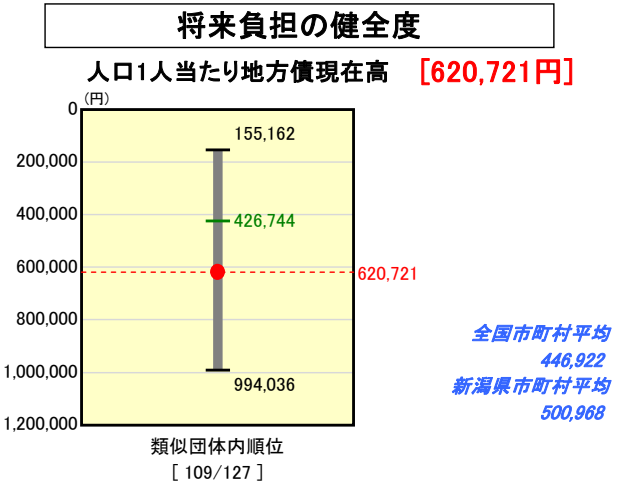
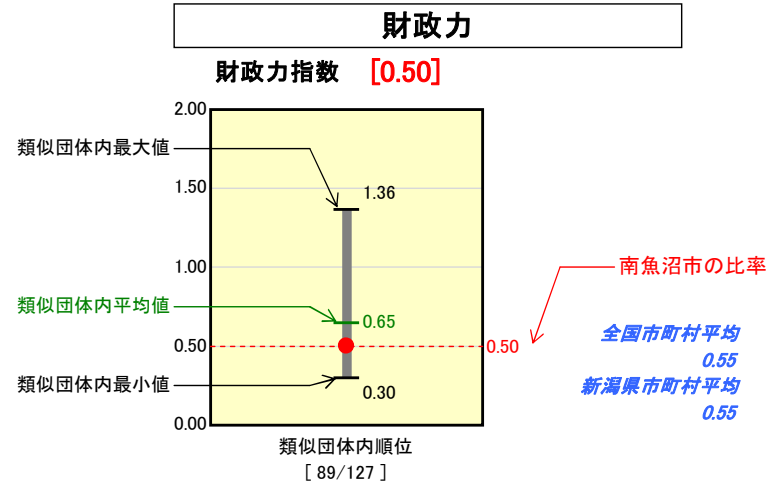


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

新潟県 南魚沼市

| | | |
|------|------------|-----------------|
| 人口 | 62,061 | 人(H20.3.31現在) |
| 面積 | 584.82 | km ² |
| 歳入総額 | 27,436,886 | 千円 |
| 歳出総額 | 26,991,042 | 千円 |
| 実質収支 | 424,547 | 千円 |



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】基準財政需要額では合併特例債の償還の本格化に伴う公債費等の増、基準財政収入額では税源移譲による個人市民税の増等により、結果として財政力指数は、昨年度に比較して0.01ポイント上昇した。今後も合併したことのメリットを充分発揮するよう、職員の削減・給与の適正化、歳出削減や市税の徴収強化などの取組みを通じて財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】昨年度に比較して除雪経費や他会計への繰入金等の増により、4.1ポイント上昇した。また類似団体を0.3ポイント下回っている。引き続き集中改革プランの実施により、職員の削減・給与の適正化、内部管理経費の削減等により経常経費の削減に努める。

【人口1人当たり地方債残高】昨年度に比較して17,721円減少した。今後も新市の基礎づくりのため合併特例債の発行を見込んでいるが、その他の事業に係る新規発行を抑制したり、公的資金の補償金免除繰上償還に取り組むことで残高の縮減を目指していく。

【実質公債費比率】昨年度に比較して1.1ポイント減少した。依然として、水道会計への高料金対策に係る繰入れ、積極的な下水道事業に伴う公債費への繰入れの増加等によって非常に高い数値となっている。平成20年9月に「公債費負担適正化計画」を改訂し、公的資金の補償金免除繰上償還への取組み、新規発行分をその年の償還額以内に抑制する、交付税措置のある有利な起債の選択を図ることなどで数値の低下に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】昨年度に比較して4,279円増加した。除雪経費の増加が主な要因である。また、類似団体と比較しても、額で43,983円、率で37.7%高い数値となっている。集中改革プランの実施により、定員管理・給与の適正化、一般行政経費の縮減を図り、人件費・物件費等の抑制に努める。

【ラスパイルズ指数】国家公務員の給与制度に準拠することを基本として、退職時特別昇給の廃止、高齢層職員の昇給停止、特殊勤務手当の見直しを実施した。また平成18年度から給与の5%相当の削減を実施している。

【人口1,000人当たり職員数】昨年度に比較して0.08人増加した。類似団体とは、人数で3.55人、率にして43.1%高い数値となっている。今後も、集中改革プランの実施により平成17年度対比で平成22年度には、人数で65人、率にして6.1%の削減を目指す。